

平成28年度行政事業レビューシート (警察庁)

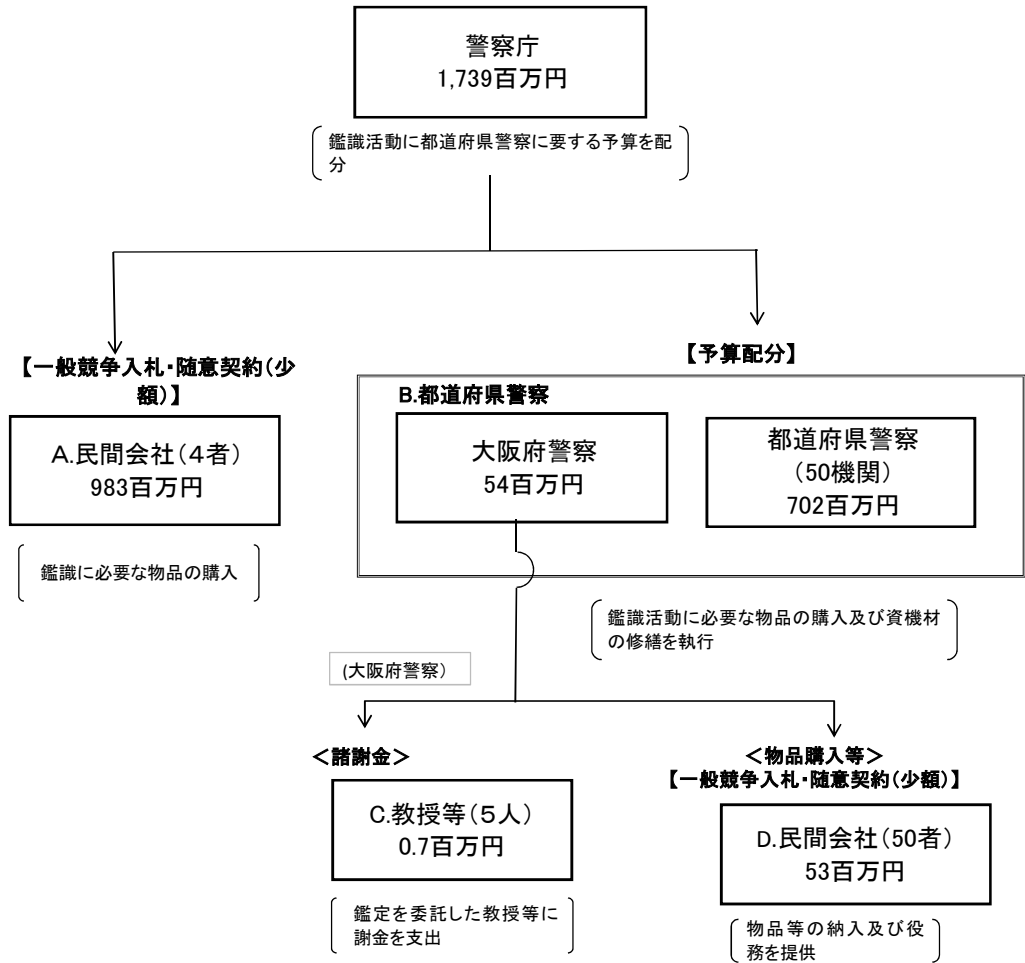
事業名	鑑識に必要な物品購入等			担当部署	刑事局	作成責任者				
事業開始年度	不明	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	犯罪鑑識官	犯罪鑑識官 青山 彩子				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	全国的に一定水準の科学捜査力を確保するため、鑑定・鑑識業務に必要な装備資機材の整備を強化する。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	捜査を取り巻く環境の悪化、裁判員制度の導入等により、従来にも増して客観的証拠の活用が必要とされる中で、複雑・多様化した犯罪情勢に対処していくためには、鑑定資機材を有効活用し、犯罪現場に残された微細・微量な資料を迅速・的確に採取・鑑定して得た客観的証拠を捜査に反映させることが重要である。このため、鑑識・鑑定業務に支障を来すことがないよう、科学捜査力を強化する。									
実施方法	直接実施									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		当初予算	1,411	881	877	1,629	2,884			
		補正予算	3,648	1,239	0					
		前年度から繰越し	3,235	1,449	981	0				
		翌年度へ繰越し	▲ 1,449	▲ 981	0					
		予備費等	0	0	0					
	計	6,845	2,588	1,858	1,629	2,884				
	執行額	4,678	2,198	1,739						
執行率 (%)	68%	85%	94%							
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック		
定量的な成果目 標の設定が困難な 場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			(成果目標) 科学捜査力の強化 (達成状況) 各都道府県警察における鑑定・鑑識資機材を充実させ、迅速・的確に採取・鑑定して得た客観的証拠を捜査に反映することにより、科学捜査力の強化に寄与している。						
	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	重要犯罪の検挙の促進	重要犯罪の検挙件数	実績	件	9,255	9,579	9,082	-	-	
		目標値	件	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	被疑者指紋登録件数(再犯を除く)			活動実績	件	177,742	157,813	157,889	-	
				当初見込み	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	年間執行額/年度			単位当たり コスト	千円	4,678,236	2,197,378	1,738,693	-	
				計算式	執行額 /年度	4,678,236/1	2,197,378/1	1,738,693/1	-	

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		16	16	資機材更新経費の増 「新しい日本のための優先課題推進枠」1,762百万円				
	物品購入等		1,613	2,868					
計		1,629	2,884						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	2 犯罪捜査の的確な推進								
		施策	1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上							
	測定指標		定量的指標		実績値	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度
		各重要犯罪(注1)の検挙率(注2) (注1) 殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ (注2) 右記の数値は、未遂罪及び予備罪を含む。	実績値	%	63.9	70	73.2	-		
			目標値	%	64	64.2	65.1	-	67	
		定量的指標		実績値	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28年度
	重要窃盗犯(注1)の検挙率(注2) (注1) 侵入窃盗、自動車盗、ひったくり及びすり (注2) 右記の数値は、未遂罪及び予備罪を含む。	実績値	%	49.2	50.5	53.6	-			
		目標値	%	49.1	49.4	49.1	-	50.2		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	鑑定資機材を有効活用し、犯罪現場に残された微細・微量な資料を迅速・的確に採取・鑑定して得た客観的証拠を捜査に反映させることにより、的確な犯罪捜査を一層促進することが出来る。									

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	客観性の高い科学的根拠の取集・確保は広く国民から期待されている	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	法令に基づき国庫支弁としている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	犯罪の確実な立証を図る上で不可欠なものである。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を行い、競争性の確保、コスト削減等に配慮している。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	鑑識・鑑定業務を行う上で必要な金額を支出している。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一般競争入札を行い、競争性の確保、コスト削減等に配慮している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	鑑識・鑑定業務に必要なものに限定している。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	一般競争入札を行い、競争性の確保、コスト削減等に配慮している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	犯罪の確実な立証を図る上で最適な手段・方法により実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	犯罪の立証に活用している。	
事業関連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
点検・改善結果	点検結果	都道府県警察に予算配分している消耗品等については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先・用途については把握している。			
	改善の方向性	本経費については、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、客観的証拠の活用のため引き続き実施する必要がある。 契約に際しては、一般競争入札を実施するとともに、今後も過去の調達実績の反映や、より競争性を高める仕様への見直しを図るなど、引き続き予算の適正な執行に努める。			
外部有識者の所見					
引き続き、執行における競争性・透明性の向上を図ること。また、整備した資機材の有効活用を図ること。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	特になし。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	当初17-3	平成23年度	66	平成24年度	51
平成25年度	23	平成26年度	24	平成27年度	21

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.ティアック株式会社			B.大阪府警察		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入	鑑識に必要な物品購入等	456.2	予算配分	鑑識活動に必要な物品購入等	54
計		456.2	計		54
C.教授等			D.株式会社 早川衡器		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	鑑定に関する経費	0.7	物品購入等	足カバー ほか購入	11
計		0.7	計		11
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 早川衡器	8120001013361	足カバー ほか購入	5.1	一般競争入札	1	-	-
2	株式会社 早川衡器	8120001013361	足カバー ほか購入	5	一般競争入札	2	-	-
3	株式会社 早川衡器	8120001013361	ポリグラフ記録紙 ほか購入	0.9	随意契約 (少額)	-	-	-
4	株式会社ピー・エス・インダストリー	6010901009942	足跡用帯電シート 購入	4	一般競争入札	1	-	-
5	株式会社ピー・エス・インダストリー	6010901009942	指紋用転写紙 購入	3.3	一般競争入札	1	-	-
6	株式会社ピー・エス・インダストリー	6010901009942	記号札 購入	0.7	随意契約 (その他)	-	-	-
7	株式会社 アズパイオ	8120001016752	詰め替えチップ ほか購入	6.2	一般競争入札	2	-	-
8	株式会社 アズパイオ	8120001016752	分離カラム ほか購入	1.6	随意契約 (少額)	-	-	-
9	八洲薬品株式会社	3120901014174	アンフェタミンクラスッセイ ほか購入	2.5	一般競争入札	2	-	-
10	八洲薬品株式会社	3120901014174	分離カラム ほか購入	1.5	随意契約 (少額)	-	-	-
11	八洲薬品株式会社	3120901014174	酢酸 ほか購入	1.5	随意契約 (少額)	-	-	-
12	株式会社科学装備研究所	5011201001129	指紋検出用刷毛 ほか購入	2.1	一般競争入札	1	-	-
13	株式会社科学装備研究所	5011201001129	四三酸化鉄 ほか購入	0.7	随意契約 (少額)	-	-	-
14	株式会社科学装備研究所	5011201001129	足跡用転写紙 ほか購入	1.6	随意契約 (少額)	-	-	-
15	株式会社山口商会	8120901002273	手袋 ほか購入	1.9	一般競争入札	2	-	-
16	株式会社山口商会	8120901002273	2×4材 購入	0.5	随意契約 (少額)	-	-	-
17	株式会社山口商会	8120901002273	プラスチックケース ほか購入	0.3	随意契約 (少額)	-	-	-
18	ユニアデックス株式会社	8010601024653	ライブスキャナ修理	0.4	随意契約 (その他)	-	-	-
19	ユニアデックス株式会社	8010601024653	ライブスキャナ修理	0.3	随意契約 (その他)	-	-	-
20	ユニアデックス株式会社	8010601024653	ライブスキャナ修理	1.6	随意契約 (その他)	-	-	-
21	株式会社中川商店	5120001021152	ドッグフード 購入	0.7	随意契約 (少額)	-	-	-
22	株式会社中川商店	5120001021152	グルコサミンDS60粒入 ほか購入	0.3	随意契約 (少額)	-	-	-
23	株式会社中川商店	5120001021152	エビオス錠 2000錠入 ほか購入	0.4	随意契約 (少額)	-	-	-
24	株式会社エクシールコーポレーション	1200001018978	足跡用転写紙 ほか購入	0.5	随意契約 (少額)	-	-	-
25	株式会社エクシールコーポレーション	1200001018978	足跡用転写紙 ほか購入	0.5	随意契約 (少額)	-	-	-
26	株式会社エクシールコーポレーション	1200001018978	足跡用転写紙 購入	0.4	随意契約 (少額)	-	-	-
27	株式会社池田理化	3010001010696	時間飛行型タンデム質量分析装置修理	0.6	随意契約 (その他)	-	-	-
28	株式会社池田理化	3010001010696	高性能液体分離質量分析装置修理	0.4	随意契約 (その他)	-	-	-
29								
30								

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

 チェック